

# 子育て世代アンケート 結果

## ■アンケート実施状況

調査期間：令和3年1月6日～令和3年2月1日（27日間） ※締切遅延分も集計

対象者：市内の小学校、幼稚園、保育園を利用している保護者

実施方法：小学校、幼稚園、保育園、子育て支援センターを通じて配布し、インターネットで回答  
(子どもが複数人いる場合など、重複して配布している場合あり)

配布数： 3,347 通

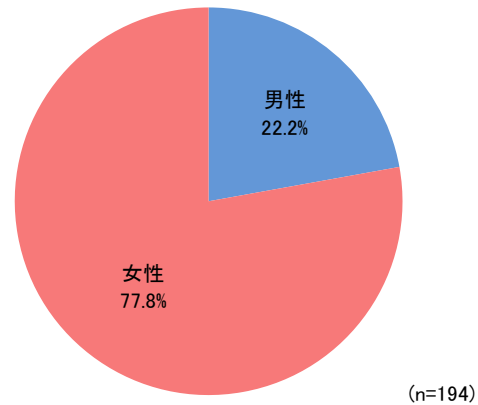
回答数： 194 通

回収率： 5.8 %

## 1. あなたのことについて、おたずねします

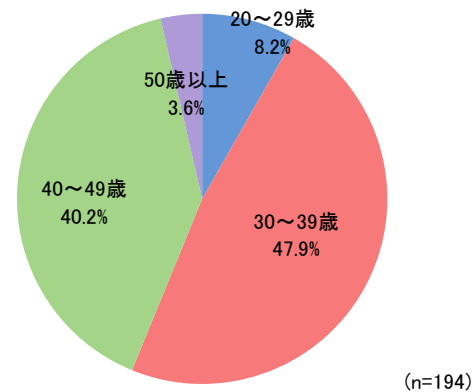
### 問1あなたの性別

	(件)
1. 男性	43
2. 女性	151
計	194



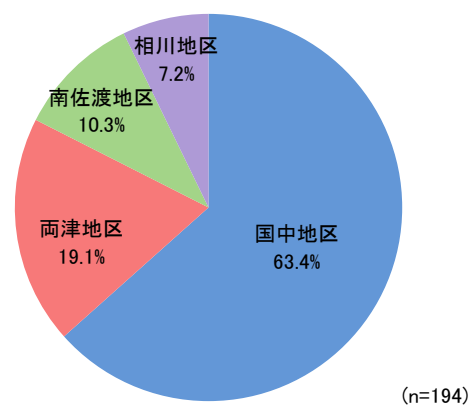
### 問2あなたの年齢

	(件)
1. 19歳以下	0
2. 20～29歳	16
3. 30～39歳	93
4. 40～49歳	78
5. 50歳以上	7
計	194



### 問3あなたのお住まいの地区

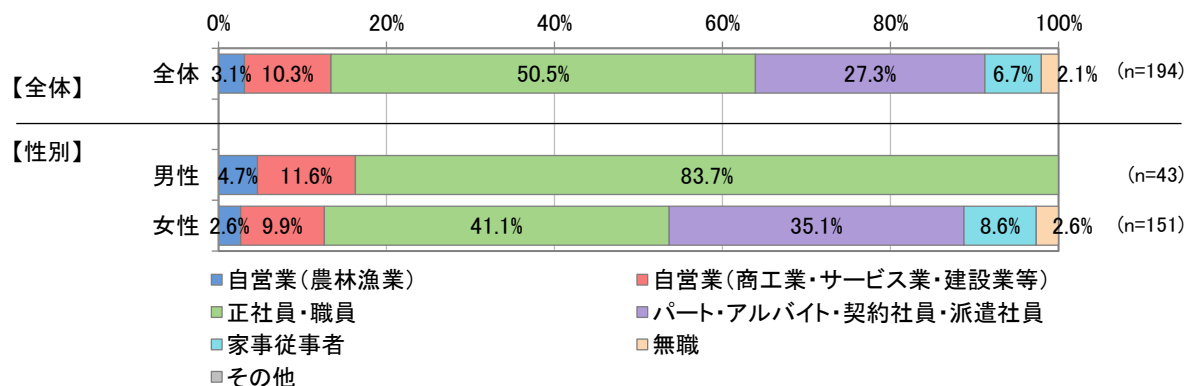
	(件)
1. 国中地区(佐和田・金井・新穂・畑野・真野地区)	123
2. 両津地区	37
3. 南佐渡地区(小木・赤泊・羽茂地区)	20
4. 相川地区	14
計	57



## 問4あなたと配偶者の雇用形態

### ■あなたの雇用形態

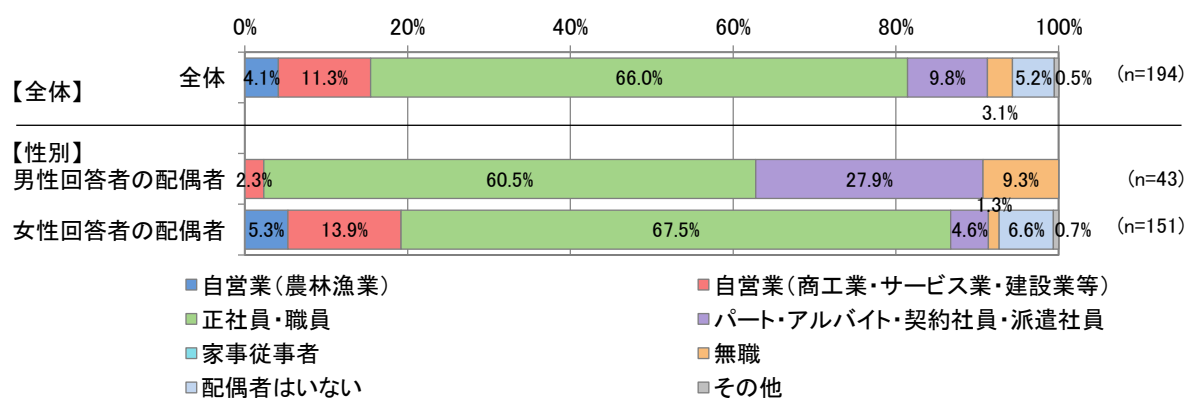
	(件)
1. 自営業(農林漁業)	6
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	20
3. 正社員・職員	98
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	53
5. 家事従事者	13
6. 無職	4
計	194



### ■配偶者の雇用形態

	(件)
1. 自営業(農林漁業)	8
2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等)	22
3. 正社員・職員	128
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	19
5. 家事従事者	0
6. 無職	6
7. 配偶者はいない	10
8. その他	1
計	194

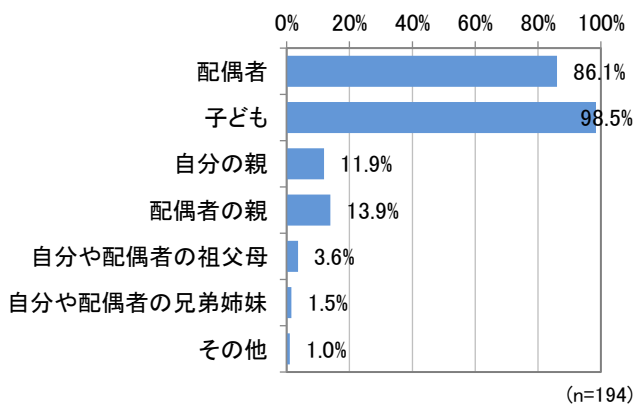
その他  
・学生



問5同居しているご家族 (該当するもの全て〇)

	(件)
1. 配偶者	167
2. 子ども	191
3. 自分の親	23
4. 配偶者の親	27
5. 自分や配偶者の祖父母	7
6. 自分や配偶者の兄弟姉妹	3
7. その他	2
計	420

その他
・ 婚約者
・ 甥、姪

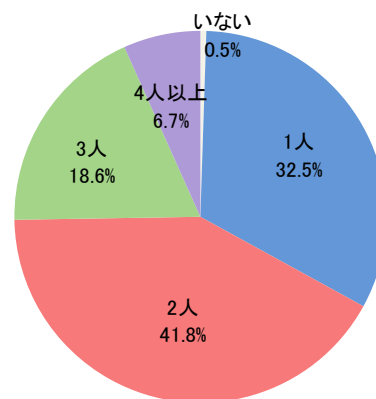


## 2. 子どもや子育てのことについておたずねします。

問6お子さんの年齢・人数を教えてください。

### ■子どもの人数

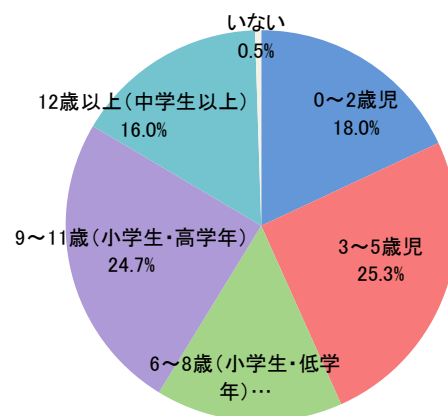
	(件)
1. いない	1
2. 1人	63
3. 2人	81
4. 3人	36
5. 4人以上	13
計	194



(n=194)

### ■第一子の年齢

	(件)
1. 0～2歳児	35
2. 3～5歳児	49
3. 6～8歳(小学生・低学年)	30
4. 9～11歳(小学生・高学年)	48
5. 12歳以上(中学生以上)	31
6. いない	1
計	194



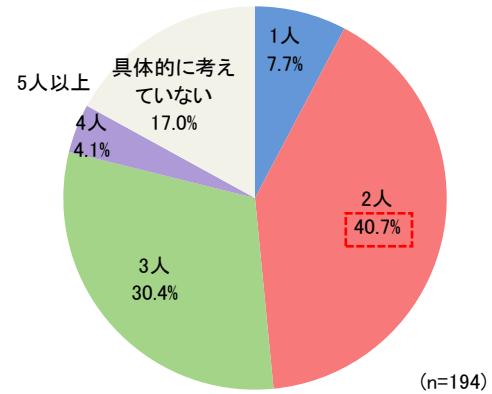
(n=194)

問7将来も含めて実際望むお子さんの人数と、実際とは関係なく理想とするお子さんの人数はそれぞれ何人ですか。

子育て世代の方が実際に望む子どもの人数は、「2人（約41%）」が最も多い。一方で、理想とする子どもの人数は、「3人（約44%）」が最も多い。  
理想よりも実際に望む子どもの人数は、理想よりも平均約12人少ない。

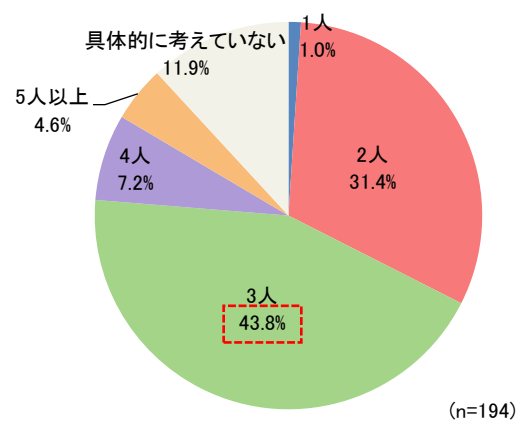
■実際に望む子どもの人数

	(件)
1. 1人	15
2. 2人	79
3. 3人	59
4. 4人	8
5. 5人以上	0
6. 具体的に考えていない	33
計	194



■理想の子どもの人数

	(件)
1. 1人	2
2. 2人	61
3. 3人	85
4. 4人	14
5. 5人以上	9
6. 具体的に考えていない	23
計	194



問8実際に望んでいるお子さんの人数が理想より少ない場合、その理由は何ですか。  
(3つまで)

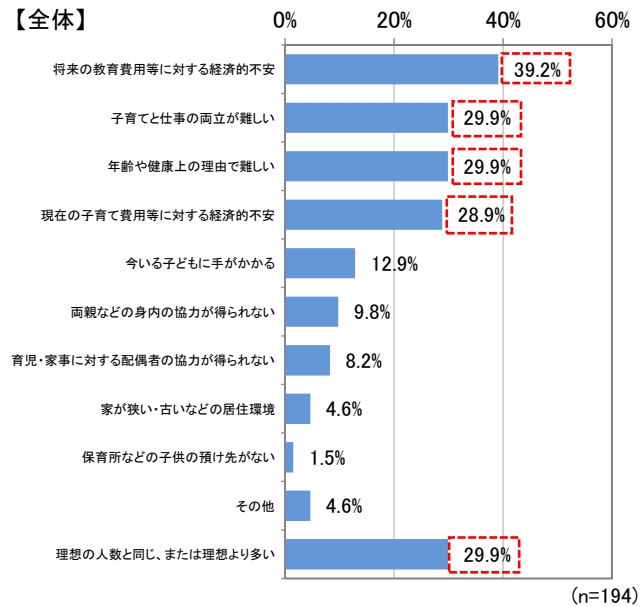
実際に望んでいる子どもの人数が理想よりも少ない理由としては、「将来の教育費用等に対する経済的不安(約39%)」が最も多く、次いで「子育てと仕事の両立が難しい(約30%)」と「年齢や健康上の理由で難しい(約30%)」、「現在の子育て費用等に対する経済的不安(約29%)」となっている。

また、「理想の人数と同じ、または理想より多い」と回答した方は、約30%である。

第一子の年齢別にみると、第一子が0~5歳である方は「現在の子育て費用等に対する経済的不安」、第一子が9~11歳である方は「年齢や健康上の理由で難しい」、第一子が12歳以上である方は「理想の人数と同じ、または理想より多い」が、それぞれ割合が高い。

	(件)
1. 将来の教育費用等に対する経済的不安	76
2. 子育てと仕事の両立が難しい	58
3. 年齢や健康上の理由で難しい	58
4. 現在の子育て費用等に対する経済的不安	56
5. 今いる子どもに手がかかる	25
6. 両親などの身内の協力が得られない(近くにいない)	19
7. 育児・家事に対する配偶者の協力が得られない	16
8. 家が狭い・古いなどの居住環境	9
9. 保育所などの子供の預け先がない(条件が合わない)	3
10. その他	9
11. 理想の人数と同じ、または理想より多い	58
計	387

【全体】

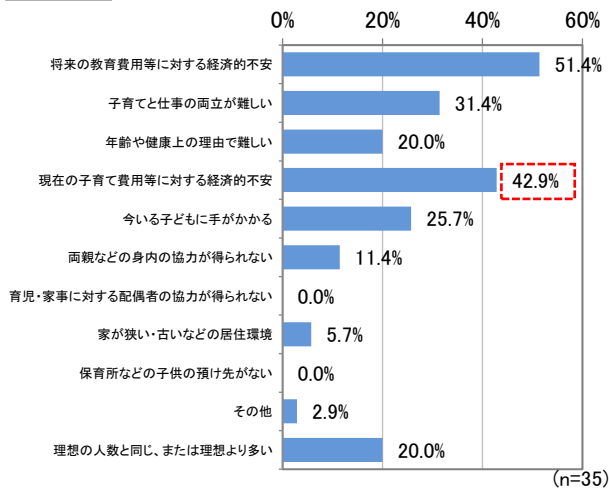


その他

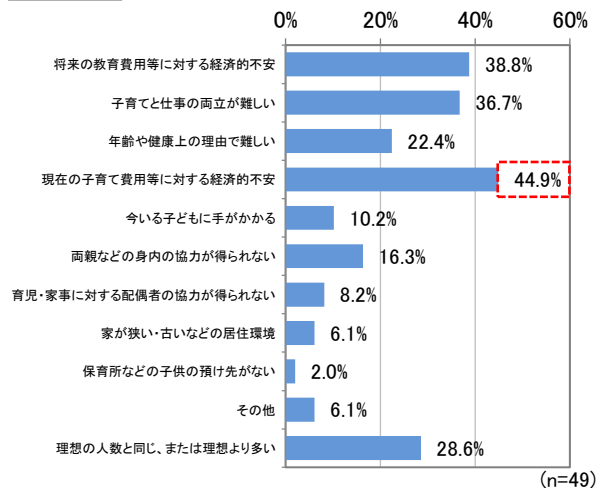
- ・ 配偶者との意見の相違(2)
- ・ ほしくても授かりにくい(2)
- ・ 一人親のため(2) など

【第一子の年齢別】

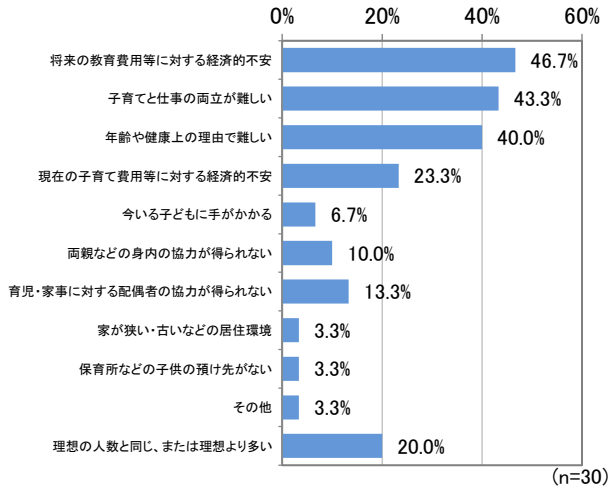
0~2歳児



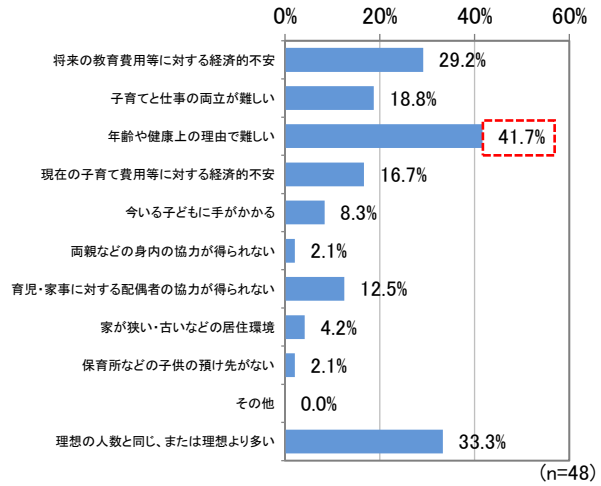
3~5歳児



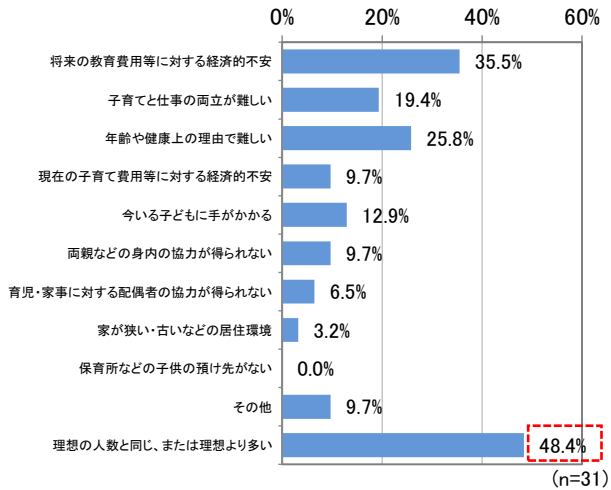
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



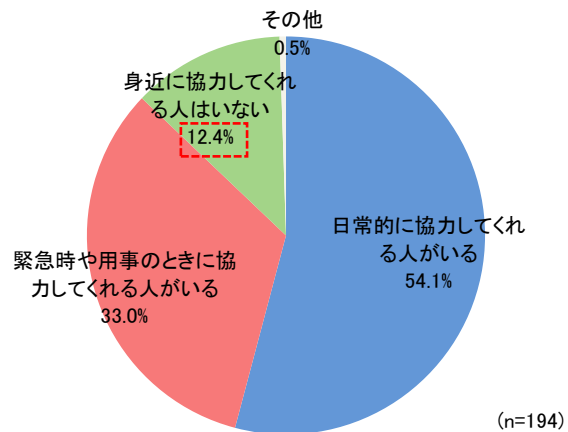
問9日常的に子育てを協力してくれるご家族や知人が身近にいますか。

子育てを協力してくれる家族や知人について、約12%の方が「身近に協力してくれる人はいない」と回答している。

	(件)
1. 日常的に協力してくれる人がいる	105
2. 緊急時や用事のときに協力してくれる人がいる	64
3. 身近に協力してくれる人はいない	24
4. その他	1
計	194

その他

・今はいるが以前はいなかった



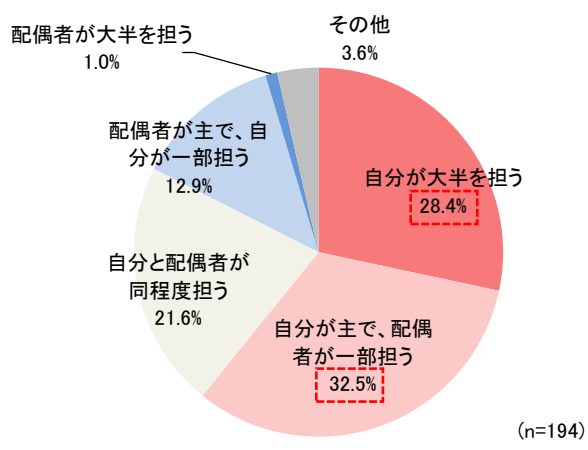
問10家事と育児の現在の役割分担と理想とする役割分担を教えてください。

現在の家事と育児の役割分担について、半数以上の方が「自分が主で、配偶者が一部担う」、「自分が大半を担う」と回答している。  
 一方で、理想とする役割分担については、約67%の方が「自分と配偶者が同程度担う」と回答している。  
 理想とする役割分担を男女別でみると、「自分が大半を担う」と「自分が主で配偶者が一部担う」は、男性が約2%であるのに対し、女性は約32%である。また、「配偶者が大半を担う」と「配偶者が主で自分が一部担う」は、女性が約1%であるのに対し、男性は約23%である。

■現在の家事と育児の役割分担

	(件)
1. 自分が大半を担う	55
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	63
3. 自分と配偶者が同程度担う	42
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	25
5. 配偶者が大半を担う	2
6. その他	7
計	187

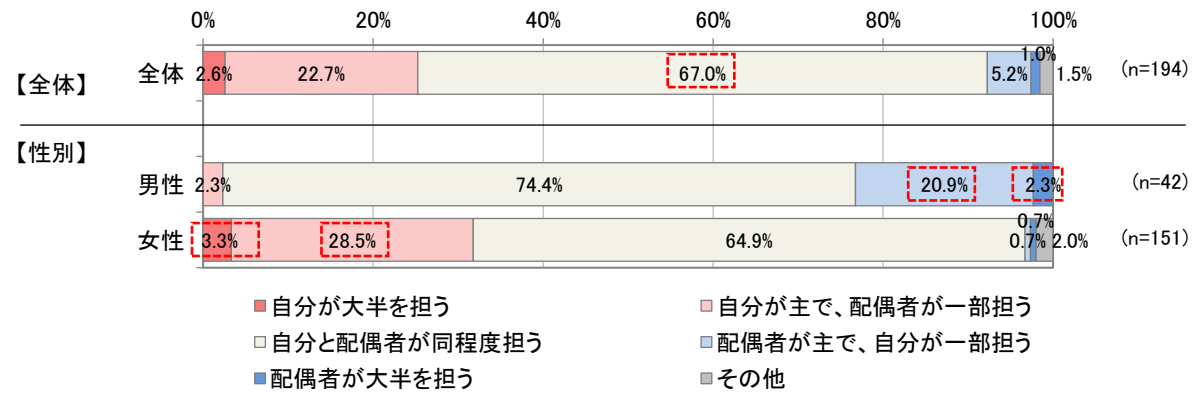
その他  
 ・自分の親が担う(4)  
 など



■理想とする家事と育児の役割分担

	(件)
1. 自分が大半を担う	5
2. 自分が主で、配偶者が一部担う	44
3. 自分と配偶者が同程度担う	130
4. 配偶者が主で、自分が一部担う	10
5. 配偶者が大半を担う	2
6. その他	3
計	191

その他  
 ・同居家族  
 など



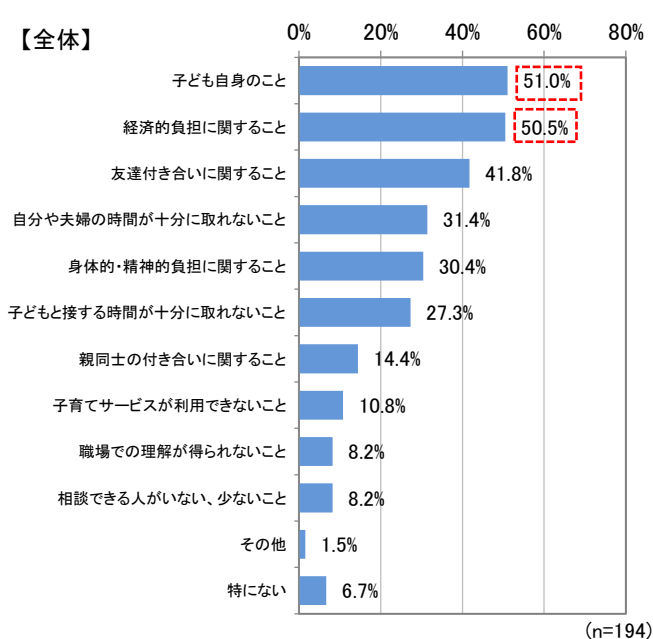


問1 1日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。  
(該当するもの全て○)

日頃から子育てに関して悩んでいることや不安に思っていることとして、「子どもの発育・発達・性格行動など子ども自身のこと(約51%)」が最も多く、次いで「子育てにかかる経済的負担に関すること(約50%)」である。

第一子の年齢別でみると、第一子が0～5、9～11歳である方は、「子育てにかかる経済的負担に関すること」について悩んでいる方が多い。また、第一子が0～2歳である方は、「保育等の子育てサービスの条件が合わず、利用できないこと」が、全体と比べて高い。

	(件)
1. 子どもの発育・発達・性格行動などの子ども自身のこと	99
2. 子育てにかかる経済的負担に関すること	98
3. 子ども同士や友達付き合いに関すること(いじめ等含む)	81
4. 自分や夫婦の時間が十分に取れないこと	61
5. 子育てにかかる身体的・精神的負担に関すること	59
6. 子どもと接する時間が十分に取れないこと	53
7. 親同士の付き合いに関すること(いじめ等含む)	28
8. 保育等の子育てサービスの条件が合わず、利用できないこと	21
9. 職場で子育てへの理解が得られないこと	16
10. 子育てに関して相談できる人がいない、少ないこと	16
11. その他	3
12. 悩んでいることや不安に思っていることは特にない	13
計	545

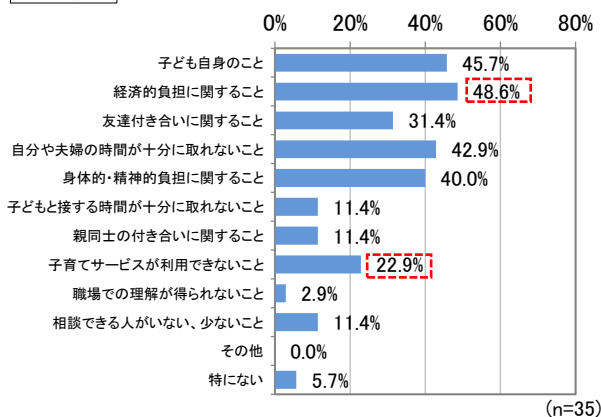


その他

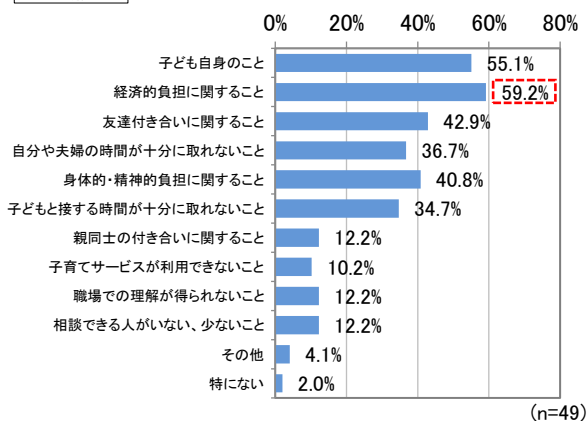
- ・ 休日に体を使って遊べる全天候対応の施設が少ない
- ・ 習い事が限られる など

■ 第一子の年齢別

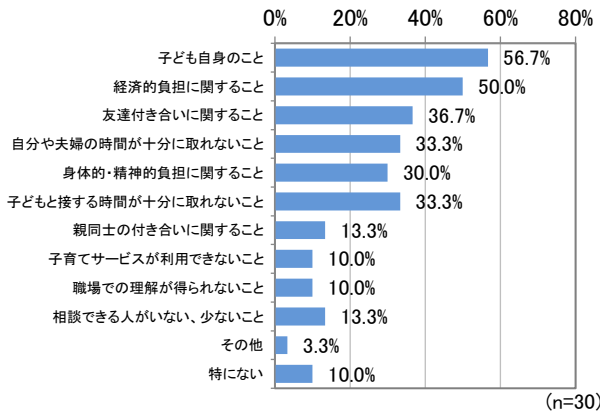
0～2歳児



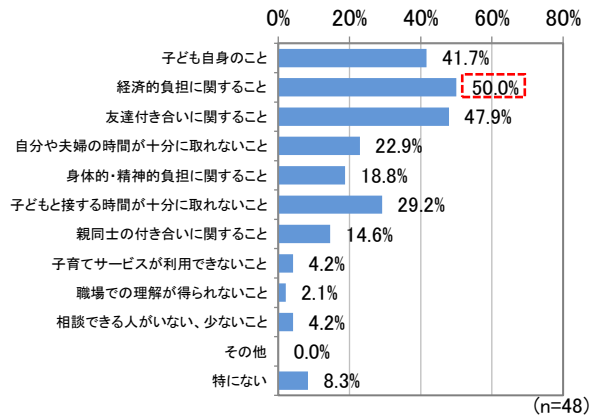
3～5歳児



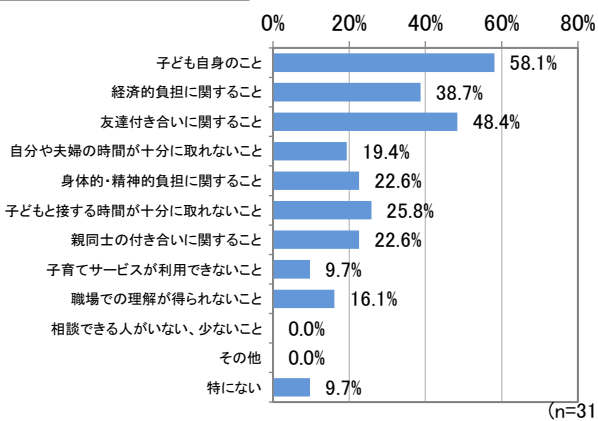
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



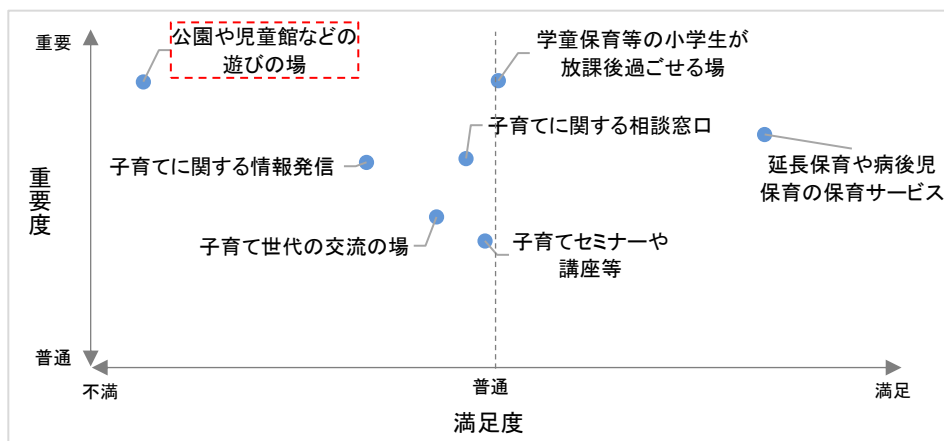
### 3. 佐渡市の子育て支援についておたずねします

問1 2子育て支援のための以下の取り組みに対する「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお答えください。

子育て支援のための取り組みのうち、「延長保育や病後児保育の保育サービス」の満足度が約50%で最も高い。一方で、「公園や児童館などの遊びの場」については、約63%の方が不満を感じている。

今後の重要度については、「公園や児童館などの遊びの場」の重要度が約92%で最も高く、次いで「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」の重要度が約88%である。

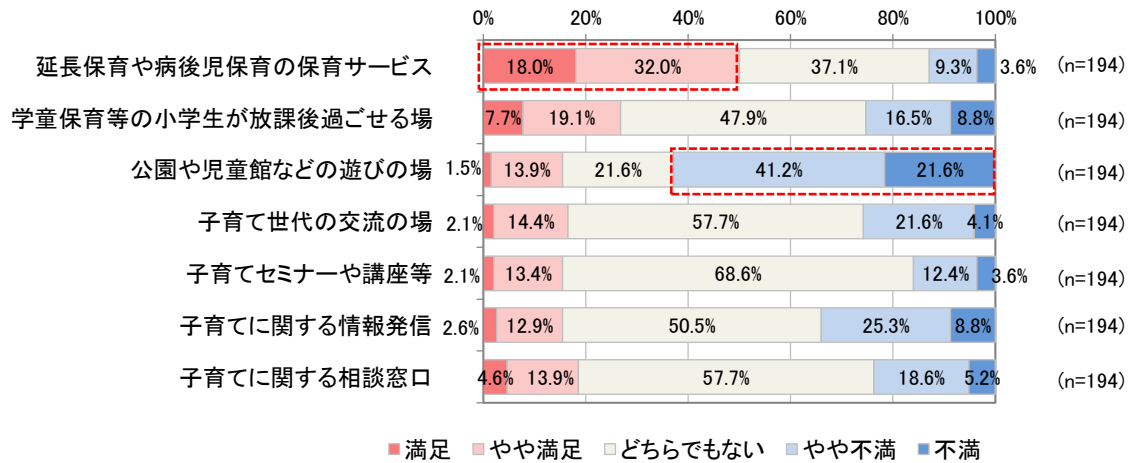
特に「公園や児童館などの遊びの場」は、現状の満足度が低く、今後の重要度が高い。



■現在の満足度

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	35	62	72	18	7	194
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	15	37	93	32	17	194
公園や児童館などの遊びの場	3	27	42	80	42	194
子育て世代の交流の場	4	28	112	42	8	194
子育てセミナーや講座等	4	26	133	24	7	194
子育てに関する情報発信	5	25	98	49	17	194
子育てに関する相談窓口	9	27	112	36	10	194

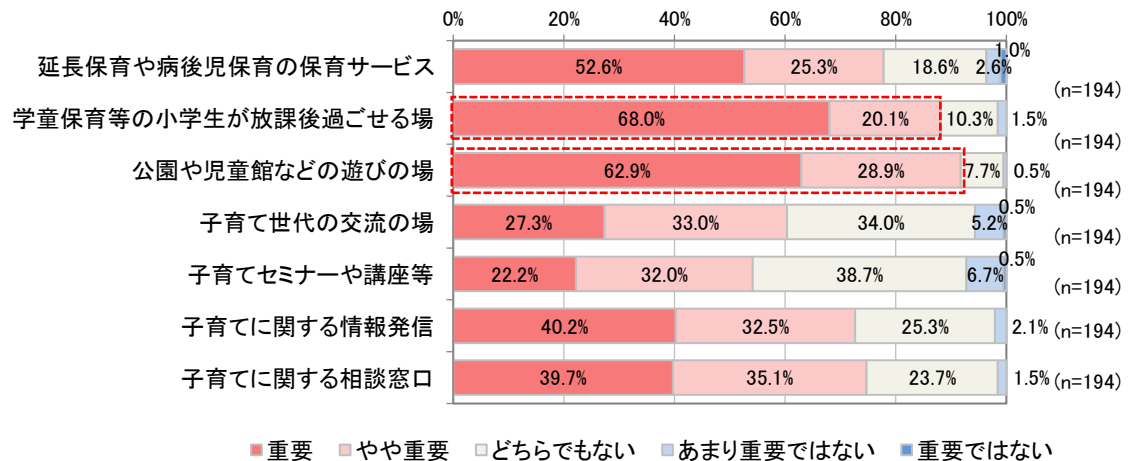
【全体】



■今後の重要度

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
延長保育や病後児保育の保育サービス	102	49	36	5	2	194
学童保育等の小学生が放課後過ごせる場	132	39	20	3	0	194
公園や児童館などの遊びの場	122	56	15	1	0	194
子育て世代の交流の場	53	64	66	10	1	194
子育てセミナーや講座等	43	62	75	13	1	194
子育てに関する情報発信	78	63	49	4	0	194
子育てに関する相談窓口	77	68	46	3	0	194

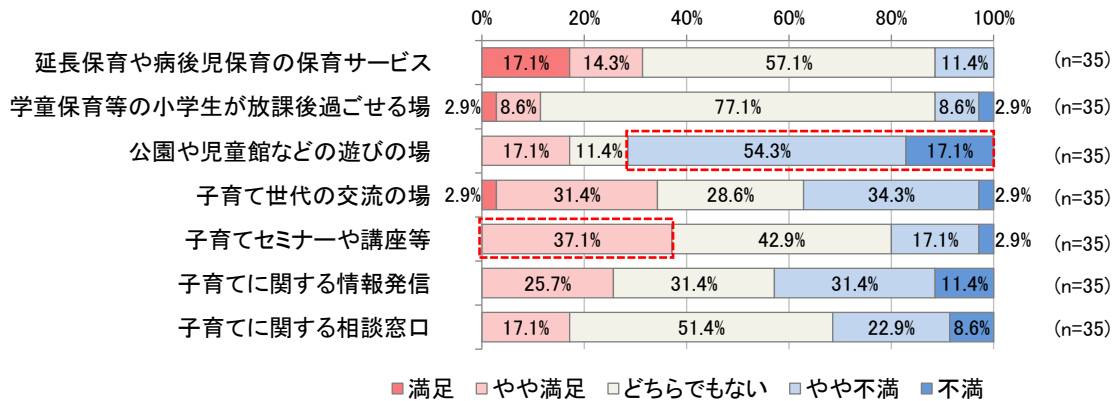
【全体】



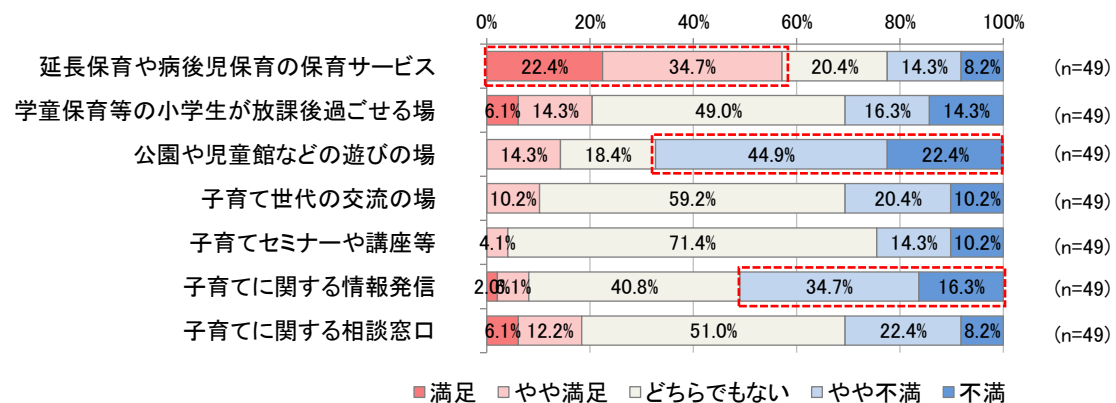
第一子の年齢別でみると、第一子が3歳以上である方は「延長保育や病後児保育の保育サービス」、第一子が0～2歳である方は「子育てセミナーや講座等」が、それぞれ満足度が高い。  
 一方で、第一子が3～5歳である方は、「公園や児童館などの遊びの場」に次いで、「子育てに関する情報発信」についても半数以上の方が不満を感じている。  
 今後の重要度が80%を超える取り組みは、共通して「公園や児童館などの遊びの場」と「学童保育等の小学生が放課後過ごせる場」が高い。また、第一子が0～2歳である方は「延長保育や病後児保育の保育サービス」、第一子が0～2、6～8歳である方は「子育てに関する情報発信」と「子育てに関する相談窓口」がそれぞれ高い。

■現在の満足度  
 【第一子年齢別】

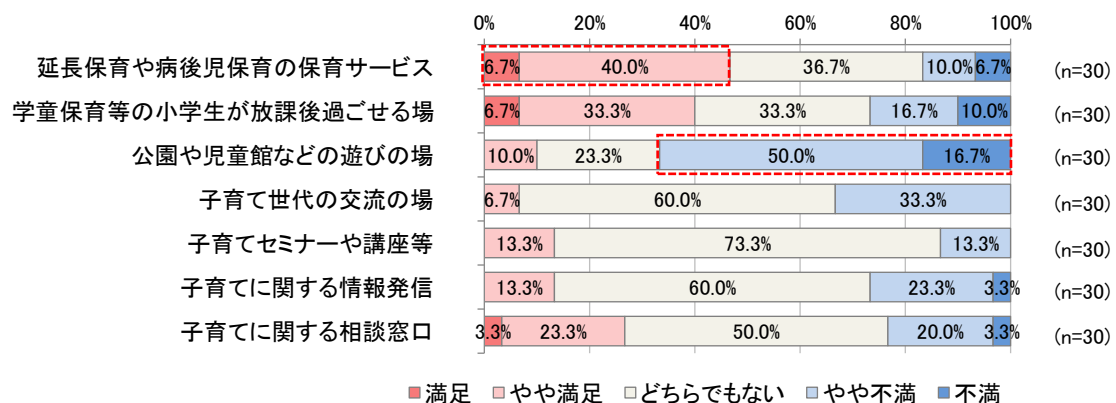
0～2歳児



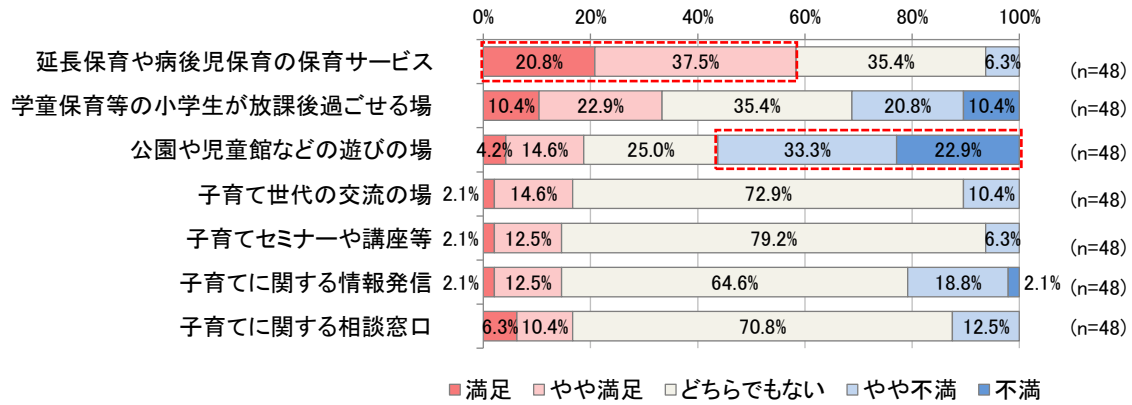
3～5歳児



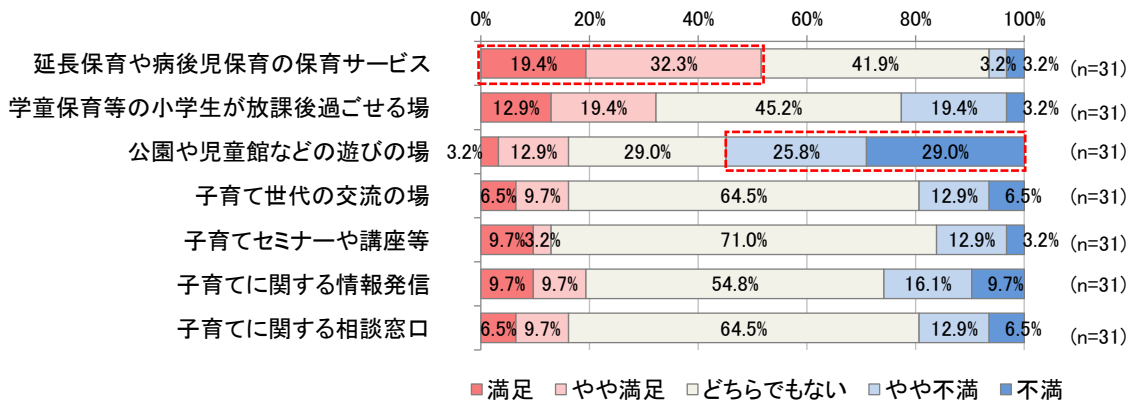
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)

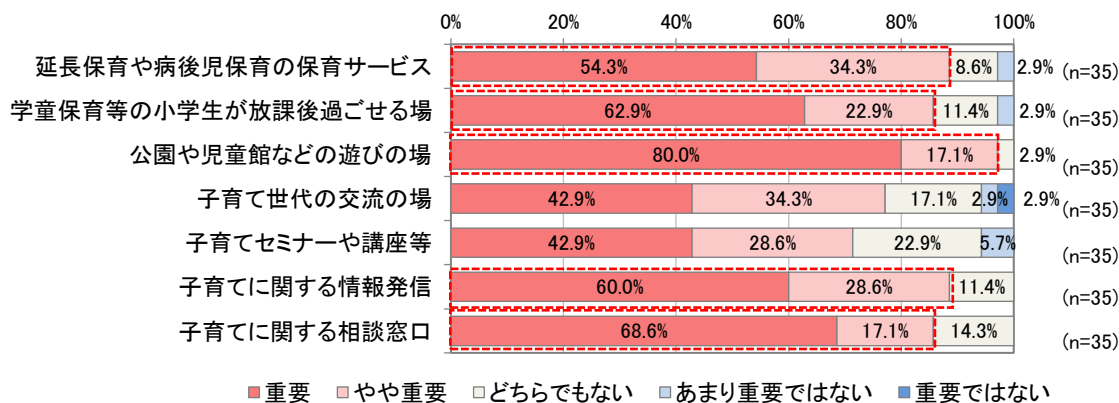


12歳以上(中学生以上)

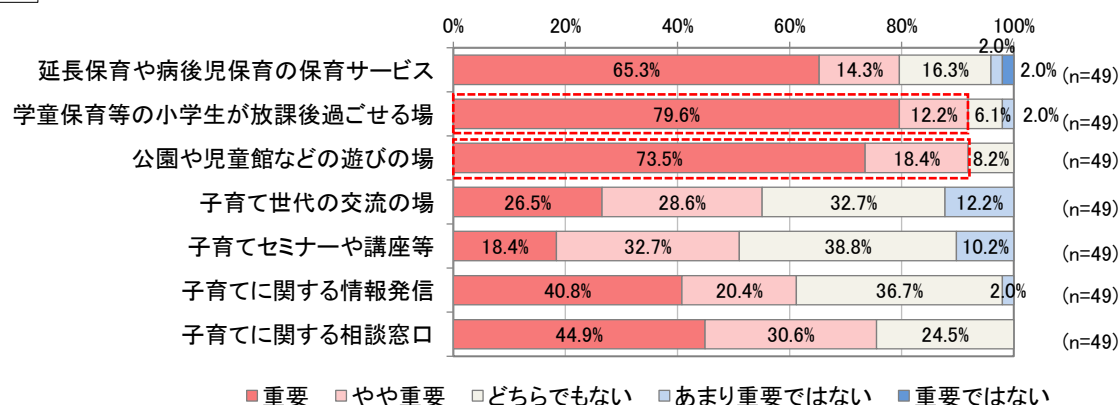


■今後の重要度  
【第一子年齢別】

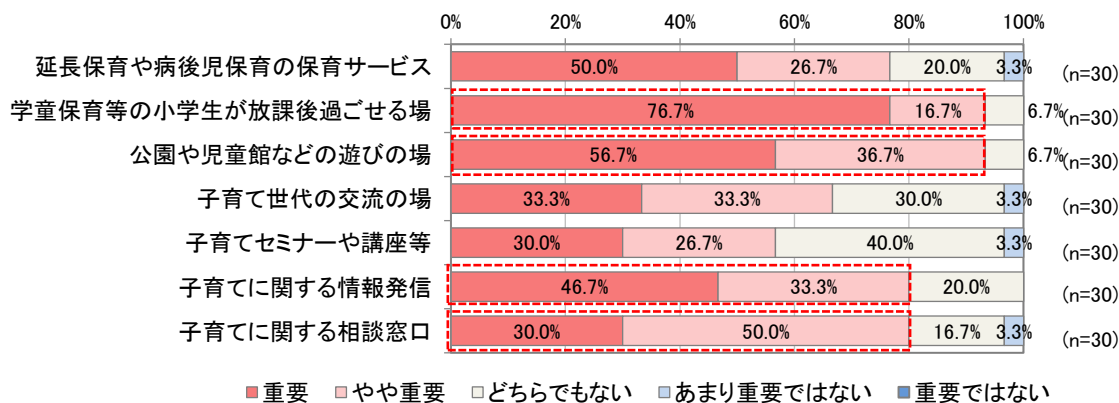
0～2歳児



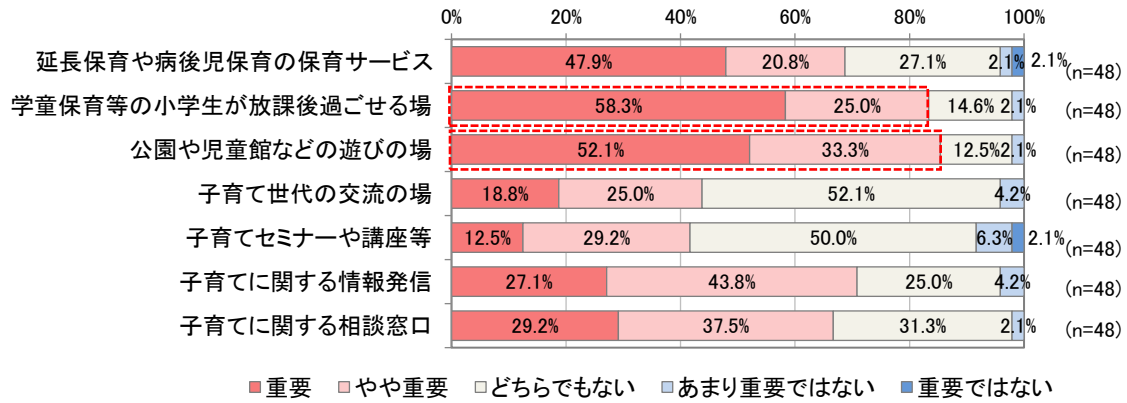
3～5歳児



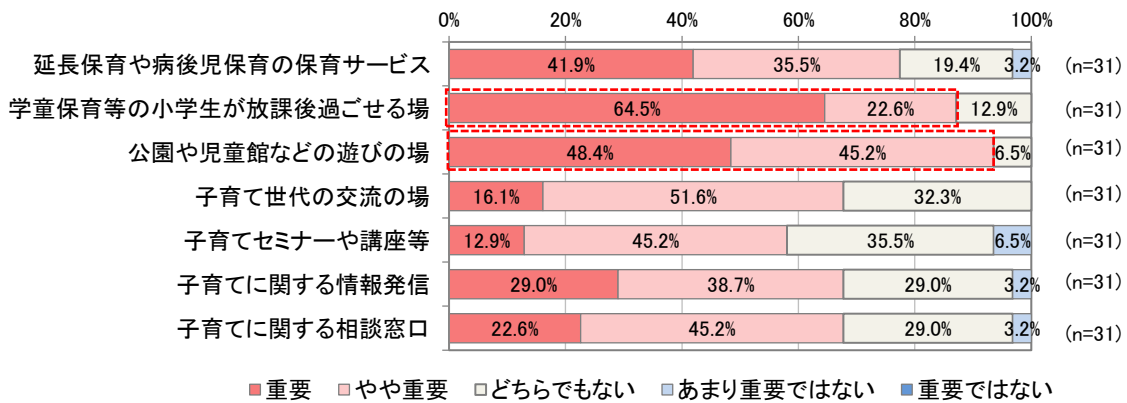
6～8歳(小学生・低学年)



9～11歳(小学生・高学年)



12歳以上(中学生以上)



問13市内での教育環境について、最も不安に思っていることや心配していることは何ですか。

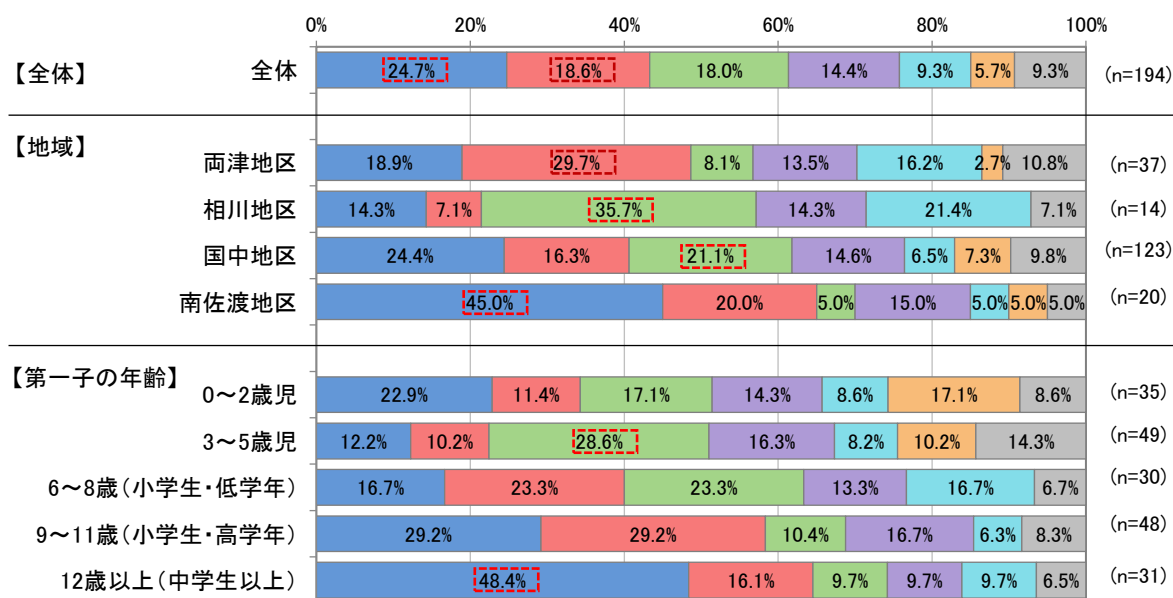
市内での教育環境について不安に思っていることや心配していることとして、「学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等に限られる（約25%）」が最も多く、次いで「大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない（約19%）」である。

地域別でみると、両津地区は「進学のために市外へ移転しなければならない」、相川地区と国中地区は「多様な意見に触れる機会がない」、南佐渡地区は「行事や部活動に限られる」が、それぞれ全体と比べて高い。

第一子の年齢別でみると、第一子が3～5歳の方は「多様な意見に触れる機会がない」、第一子が12歳以上の方は「行事や部活動に限られる」が、それぞれ全体と比べて高い。

	(件)
1. 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等に限られる	48
2. 大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない	36
3. 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない	35
4. 学校の統廃合により、通学に時間がかかる	28
5. 特に不安等はない	18
6. 関りがないのでわからない	11
7. その他	18
計	194

**その他**  
 ・学校の統廃合について(5)  
 ・親子や子ども同士の交流について(4)  
 ・教育の質や内容について(4)  
 ・通学路の安全について(2)  
 など



- 学校の児童・生徒数が少なく、行事や部活動等に限られる
- 大学がなく、進学のために市外へ移転しなければならない
- 学校の児童・生徒数が少なく、多様な意見に触れる機会がない
- 学校の統廃合により、通学に時間がかかる
- 特に不安等はない
- 関りがないのでわからない
- その他



問14子育て環境や子育て支援について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

子育て環境や子育て支援について、92名の子育て世代の方から意見が述べられた、最も意見が多い分野は、子どもの居場所づくりやコミュニティづくりといった「周辺環境」で、約41%の子育て世代の方が意見を述べている。次いで、約27%の方が情報提供やサポート体制といった「子育て支援」に関する意見を述べている。

分野	分類	件数
子育て支援 (26.6%)	一次預かり等	4
	病児・病後児保育	3
	障がい児支援	1
	サポート体制	6
	情報提供	11
	経済的支援	9
	子育て支援センター	9
施設の整備・充実 (18.8%)	学童保育	4
	保育園	8
	医療施設	3
	子どもの居場所づくり	37
周辺環境 (40.6%)	コミュニティづくり	6
	仕事と子育ての両立	4
	意識啓発	3
	イベント開催	2
	学習環境の整備	2
教育環境 (7.0%)	教育の質	7
	市の取り組みについて	4
その他 (7.0%)	その他	5
	計	128
	回答者数	92

※同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。